

# I 県の取組

## (1) 推進協議会の概要

### ◆ 推進協議会委員 (敬称略・五十音順)

No.	氏名	所属等	No.	氏名	所属等
1	伊藤 照男	滋賀県CSアドバイザー	5	中村 敦夫	滋賀県立甲良養護学校 校長
2	上村 文子	滋賀県スクールソーシャルワーク スーパーバイザー	6	矢田 充宏	彦根市立鳥居本小学校 校長
3	木村 真由美	近江八幡市教育委員会事務局 生涯学習課 指導主事	7	山元 尚美	湖南市立石部南小学校 地域学校協働 活動推進員 学校運営協議会委員
4	武井 哲郎	立命館大学経済学部 准教授 滋賀県CSアドバイザー			

### ◆ 第1回推進協議会

#### 1 協議会概要

期 日：令和4年6月6日（月）14:00～15:30

会 場：滋賀県庁北新館 5-F 会議室

※会場参加およびオンライン参加による開催（下線の参加者は、Zoomによる参加）

出席者：伊藤座長、武井副座長、木村委員、中村委員、矢田委員、山元委員

事務局：県生涯学習課（8名）、高校教育課 杉原参事、幼小中教育課 畑主幹、特別支援教育課 左谷参事、子ども・青少年局 一戸主任主事

- (1) 開 会 県生涯学習課長 挨拶
- (2) 座長、副座長選出
- (3) 協 議
  - ①令和4年度「学校を核とした地域力強化プラン」について
  - ②今年度の力点について
    - ・「持続可能な地域連携の推進方策について」
    - ・「市町に対しての家庭教育支援に係るアプローチについて」



#### 2 協議要旨

- ・ボランティアが高齢化している。辞められる方に次の方を紹介してもらうことで、持続可能な取組となる。
- ・まちづくり協議会の方や子育て支援団体の方などと連携がとれるとよい。
- ・関連する地域の組織と、福祉部局が行っている活動を、どうやって整理していくのが重要。
- ・チェックリストを使うなどして、導入して5年10年経った地域・学校では、どういう風に今やっている活動を整理して深めていけばよいか考えていくとよい。



- ・高等学校、特別支援学校にとっては地域は広い。子どもたちの生活とどう結び付けていくかが大切。
- ・何を最も大事にしたいのか地域の方と話し合いながら、焦点化をしていくことが大事。
- ・学校のことをまず知ってもらうという事が大事。子どもたちや、先生たちはどんな取組をしているかを知ってもらう。市町の教育委員会サイドのリーダーシップも非常に必要。
- ・家庭教育支援員が、CSの組織の一員となり、CSで熟議される内容の中に、不登校の課題等について共有が図られた事例がある。家庭教育支援とCSの相乗効果が期待できる。